

学ぼうだよ

第12号
出来る人が・出来る時に・楽しくボランティア子供達が待っています

食よくの秋

今年もみのりの秋がやってきました。米がとれ、大根やサツマイモなど、ほかのやさしいおおいしくなります。山ではクリやドングリなども実を落とし山の動物たちのえさになります。

みなさんはどんな食べ物が好きですか。クリごはん、さつまいもごはん、きのこのたきこみごはんなど、しよくたくには秋の実のりを使ったおいしいものがたくさんあります。

この季節は空気がカラッとしていて気持ちもよく、外での遊びもたのしいですね。そうするとおなかですいて何でもおいしく食べられます。食よくの秋はどうじにスポーツの秋でもあるのです。



スポーツをしたあとはビタミンもたっぷりとってください。学校のとうげころのあいだに「柿(かき)」を見かけませんか。昔は「いしやいらず」といわれ柿を食べると元気いっぱいだったそうです。秋の食べ物にはビタミンもいっぱいなのです。

ペットボトルキャップで

ワクチンを送ろう

今回は、児童が取り組んでいるボランティア活動を紹介します。

沼東小の児童会では、ペットボトルキャップを集めて発展途上国の子供に「ポリオワクチン」を送る取り組みをしています。

ここ数年温暖化対策について話題が事欠きません。特に注目を集めているのが温室効果のある二酸化炭素の増加と有害な紫外線を遮断してくれるオゾン層の減少です。特に二酸化炭素に関しては先進諸国が率先して減らしていこうという取り組みをしています。日本でも今後25%の削減を目指しています。

こんな中で生活の中にある身近な物で二酸化炭素の削減に協力しようという活動が盛んになり、自動車をなるべく使わない、電気をこまめに消す、プラスチック類を焼却しないなど、ちょっとしたことから続けられています。

そのプラスチック、何とペットボトルについているキャップを集めることによってワクチンの代金になるとともに二酸化炭素の削減につながっているのです。

皆さんもキャップ集めに協力をお願いします。

400個で10円

ではどのくらいキャップを集めたいのかというと、キャップ400個の重さが10円相当なのだそう。さらに一人当たりのワクチン価格は20円つまり、800個集めるとようやくワクチン一本ということになります。この数、多いと感じますかそれとも少ないと感じますか。



《富貴使用は保護者の許可済》

今、東小には378人の児童がいます。単純な計算をすれば一人が3個集めればワクチンを一人分買える事になるわけです。これが保護者の皆さんの数も合わせればもっと大きな数になるわけです。小さな事でもたくさんの人の力があれば大きなことが出来る

ものですね。今、東小に集まっているキャップは32,000個です。40人の子供にワクチンを送ることが出来ます。

ポリオ (Acute poliomyelitis、急性灰白髄炎) とは、ポリオウイルスの中脳神経感染により生ずる四肢の急性弛緩性麻痺を典型的な症状とする疾患であり、かつては小児に多発したところから小児麻痺ともよばれていた。病原となるポリオウイルスはエンテロウイルス属に分類され、抗原性の異なる1型、2型、3型の3種類がある。昭和55年を最後に我が国では発生していない。ワクチンを送る活動をしている団体のホームページです。
<http://ecocap007.com/index.html>

ボランティア募集

東小小学校学習支援センターでは、次のようにボランティアを募集します。

固定遊具の補修作業

※ 主な作業はペンキ塗りです。特別な技術は必要ありません。

朝の読み聞かせ

8時15分から20分程度
※ どなたでも参加できます。

詳しくは学習ボランティアコーディネーターまでお問い合わせください。

活動報告 (敬称略)

〇五年生ミシン教室

- 九月十五日 中澤文子、高橋君枝、稲垣美智代、吉澤ヨシ子
- 九月十六日 中澤文子、高橋君枝
- 九月三十日 高橋君枝、中澤文子
- 十月六日 中澤文子、高橋君枝、稲垣美智代
- 十月七日 中澤文子、高橋君枝
- 十月十三日 高橋君枝、中澤文子、稲垣美智代

〇サルビア種とり

- 九月二十五日 稲垣美智代、井田エン

〇四年生玉原遠足

- 十月一日 中澤勝、星野耕史、千代田すみ子、小野節子、大竹真弓



〇クラブ活動 十月十四日

- 将棋クラブ：岡田好正 (西原新町) 花茂総司 (桜町) 手芸クラブ：小淵千鶴子さん (西原新町) 調理クラブ：天野かおるさん (材木町) パソコンクラブ：布施秀雄さん (下川田町)

四年生玉原遠足

十月一日、四年生の玉原遠足にボランティア七人が同行しました。

当日の朝は霧が残り肌寒さを感じましたが、玉原湖、玉原湿原、ブナ平と進むにつれて天気回復し、お昼を食べるころには陽がさすまでになりました。

ボランティアはあらかじめ班分けしたグループに付き添い朝の挨拶から始まりました。途中、植物などの自然観察を児童と一緒にするとともに、安全確認も行いました。

ブナ平では班毎に昼食をとりました。その際にはお互いに持っていた副食などを交換したり、楽しいおしゃべりをしたり、コミュニケーションを楽しんできました。

児童は事前にしつかりと学習をしていてボランティアを質問責めにするなど困らせる場面もありました。

ボランティアで参加してくださった方々、本当にありがとうございました。(相良賢一)

「児童のお礼の手紙」

ボランティアさんへ

ぼくは、ボランティアさんがいたからわかったことがいっぱいありました。たとえば、ブナの木がじゅれいかわかる方法です。これはすごい方法なので

親にもおしえてあげました。そうしたら、「へー」という感じで聞いていました。おしえてもらって勉強になりました。

お昼になっておべんどうを食べようとしたら「なめこじるを食べる人」とボランティアさんの大きな声が聞こえてきました。「はい」とぼくは手をあげて

すぐになめこじるをもらって食べたら、すっごくおいしかったです。これがボランティアさんの手づくりだとは思いませんでした。ごちそうさまでした。

本当に楽しい遠足になりました。ありがとうございました。

【担任雑感】

今回の遠足ではボランティアの方七名にお世話になり、大変充実したになりました。



児童も班別に分かれて、植物や自然環境の説明を受け、具体的・専門的な学習ができたことと思います。

また、山登りをするのが初

朝の読み聞かせ

朝の読み聞かせが始まります。授業前の短い時間に「朝読書」があります。その時間を利用してもらいたい児童に読んであげます。

朝読書は、「集中力を高める」として数年前から全国の小中高校で取り組まれています。

朝読書の時間は、8時15分から20分程度です。

さわやかな朝の頭がすっきりしている時間に児童とともに本を楽しみましょう。

詳しい日程がわかり次第お知らせします。

【先生に頭下がる思い】

九月二十七日朝刊の投稿欄に次のような記事が載っていましたので紹介します。これは、大阪府の主婦が書いたものです。

小一の長男の学校公開に行きました。給食準備の最中で、男の子が牛乳瓶を落として割ってしまい、先生が片付けていました。飛び散った牛乳の周りには子どもが十人ほど集まり、なぜか裸足で走り回っている子も。先生が「危ないから座りなさい」と注意しても聞かれません。さらに別の女の子が「牛乳をスカートにこぼした。」と・・・

先生一人じゃ無理。手伝わずにいられませんでした。

給食風景は初めて見ましたが、これが毎日かと思うと先生方に頭が下がります。

しまう。もし財産といえるものがあるとしたら、それは墓に持って

いけるものだ。お墓に持っていけるものというのは自分の身についたものだ。家も持っていけない。土地も持っていけない。お金も持っていない。しかし、自分の身についた技術は墓に持って

いける。だからそれが自分の財産だ。」

▼地域の方々が児童の学び舎だけとしてではなく生涯学習の場として学校を活用し未来に残る財産形成を考える時が来ているのかもしれない。

写真を見に来て下さい

ボランティア活動の様子を写した写真を見に来て下さい。

場所は、学習支援センター(保健室隣)です。

学習ボランティア地域センター連絡先

沼田東小学校学習支援センター内

〒378-0053 沼田市東原新町1801-1 電話 0278-23-1118

学習ボランティア担当教諭 小曽根理佳子

学ボラだより 第12号 発行 平成21年10月23日

発行責任者 東小学校学習ボランティアコーディネーター

相良賢一 電話 070-5071-9962

大竹秀子 電話 090-5413-6130